

エムティーアイ通信

報告書 2024年9月期

2023.10.1-2024.9.30



株式会社エムティーアイ

〒163-1435
東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティタワー 35F
<https://ir.mti.co.jp>

株主の皆さまへ

トップメッセージ

**2024年9月期は増収・大幅増益。
中長期の収益は、ヘルスケア事業と
学校DX事業が牽引します。**

代表取締役社長

前多 俊宏



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業の売上・利益成長を図るべく、積極的に取り組んでいます。

2024年9月期業績

ヘルスケア事業では、調剤薬局での導入意欲が引き続き高いクラウド薬歴の導入店舗数の拡大に注力し、四半期ベースで過去最高の導入店舗数となりました。子育てDXの導入自治体数も順調に推移しました。その結果、営業利益については黒字に転換し、大幅増益となりました。

学校DX事業においても、フルクラウド型校務支援シ

ステムの導入が好調であり、第3四半期以降黒字基調となりました。

コンテンツ事業は横ばいを維持しています。

以上のことにより、当期の連結業績は、前期比で売上高は増収となり、利益は大幅増益となりました。

中長期的な収益イメージ

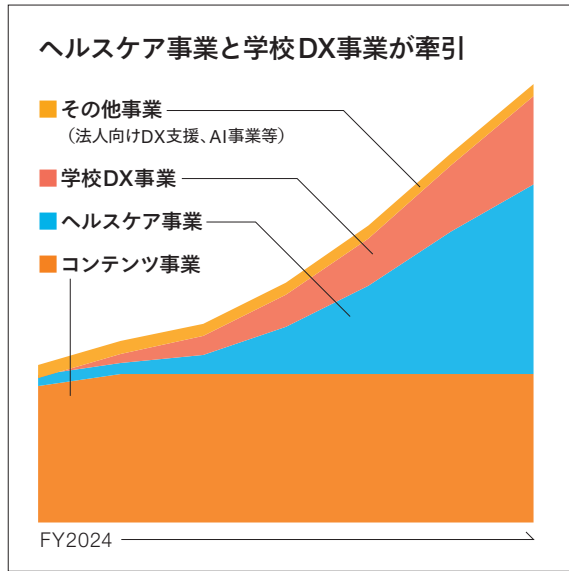
当社グループは、コンテンツ事業のキャッシュカウを源泉として、ヘルスケア事業、学校DX事業に資源を集中投資してきました。

今後の収益イメージについては、短期的には、学校DX事業が最も早く事業成長すると見込んでいます。

中長期的には、ヘルスケア事業が利益成長の牽引役となると考えています。その中でもまずはクラウド薬歴、子育てDXを牽引役としてさらなる売上・利益成長を果たし

2024年9月期 通期連結業績

ます。そして、各事業のストック売上の拡大を通じて、グループ全体で「持続的な成長」の実現を目指していきます。



期末配当のお知らせ

期末配当金については、直近の配当予想では8円としていましたが、同期の通期連結業績の利益が前期比で大幅増益となったこと、総還元性向として中期的に35%を目安に株主還元を行う方針であることを勧奨し、9円に引き上げました。

株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高：増収、
営業利益・経常利益・当期純利益：大幅増益

売上高は276億69百万円(前期比3.2%増)となり、売上総利益は売上原価が大幅に減少した結果、204億4百万円(同11.1%増)と大幅に増益となりました。

営業利益は、売上総利益の増益に加え、広告宣伝費が増加する一方で人件費や外注費の減少を主因とする販売費及び一般管理費の増抑制により、23億94百万円(同702.3%増)と大幅に増益となりました。

経常利益は、営業利益の増益に加えて、持分法による投資利益5億34百万円を計上したことにより、28億27百万円(同516.7%増)と大幅に増益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、23億63百万円(同213.8%増)となりました。

連結業績

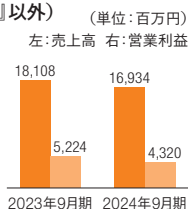
	2024年9月期	2023年9月期	前期比
売上高	276億69百万円	267億98百万円	3.2%増
営業利益	23億94百万円	2億98百万円	702.3%増
経常利益	28億27百万円	4億58百万円	516.7%増
親会社株主に 帰属する 当期純利益	23億63百万円	7億53百万円	213.8%増

セグメント別業績

① コンテンツ事業

- 月額課金サービス(『ルナルナ』、『カラダメディカ』以外) (単位:百万円)
- オリジナルコミック事業

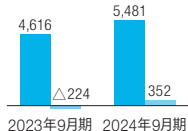
売上高は、前期に連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおいてスポット計上した動画販売の反動により、169億34百万円(前期比6.5%減)となりました。営業利益は、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費が増加したことにより、43億20百万円(同17.3%減)となりました。



② ヘルスケア事業

- 医療機関・自治体向けヘルスケアサービス (『ルナルナ』、『カラダメディカ』の月額課金サービスを含む)

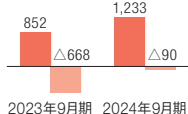
売上高は、「クラウド薬歴」および子育てDX事業等の売上高が伸長し54億81百万円(前期比18.7%増)となりました。営業利益は、増収効果と費用抑制により3億52百万円(前期は2億24百万円の損失)となりました。



③ 学校DX事業

- フルクラウド型校務支援システム

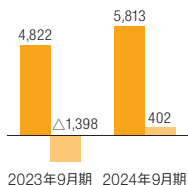
クラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数は775校(2023年4月比234校増)まで拡大し、売上高は12億33百万円(前期比44.8%増)となりました。営業損失は、増収効果に加え開発費抑制に伴う外注費の削減により、90百万円の損失(前期は6億68百万円の損失)となりました。



④ その他事業

- AI事業
- DX支援事業
- 法人向けソリューション事業

売上高は、法人向けDX支援事業の受注が大幅に拡大し、58億13百万円(前期比20.5%増)となりました。営業利益は、同事業の赤字案件が収束したことによる売上原価の減少等により、4億2百万円(前期は13億98百万円の損失)と黒字転換し、大幅増益となりました。

2025年9月期
通期連結業績予想ヘルスケア事業、学校DX事業:さらなる
売上成長

今後の業績拡大の牽引役となるヘルスケア事業および学校DX事業の売上拡大および収益拡大に注力するとともに、コンテンツ事業においてセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組むことにより収益維持を図っていきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるような様々な展開を実施していきます。

2025年9月期 通期連結業績予想

	2025年9月期 (予想)	2024年9月期 (実績)	前期比
売上高	285億円	276億69百万円	3.0%増
営業利益	28億~32億円	23億94百万円	16.9~33.7%増
経常利益	29億~33億円	28億27百万円	2.6~16.7%増
親会社株主に 帰属する 当期純利益	14億60百万~ 17億40百万円	23億63百万円	38.2~26.4%減

2025年9月期の取り組み

2025年9月期 基本方針

1 ヘルスケア事業 さらなる売上・利益成長

- 調剤薬局向け：クラウド薬歴事業のさらなる成長
- 自治体向け：子育てDXプラットフォーム戦略推進

2 学校DX事業 さらなる売上・利益成長

- 私立学校向け：さらなる導入学校数拡大
- 公立学校向け：事業領域拡大

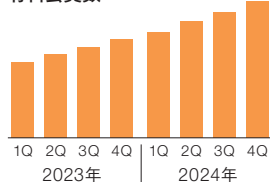
3 コンテンツ事業 利益確保

- セキュリティ関連アプリ成長
- オリジナルコミック事業成長

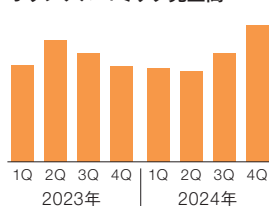
コンテンツ事業

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会が好調であること、また、コミック配信事業者向けオリジナルコミック作品における月間提供数の伸長を通じて、同事業全体の利益確保を図っていきます。

セキュリティ関連アプリ
有料会員数



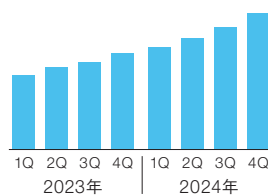
オリジナルコミック売上高



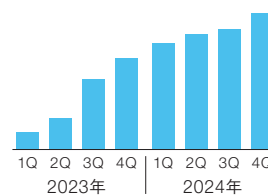
ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、調剤薬局向け「クラウド薬歴」事業が好調です。また、自治体向けに母子手帳アプリ等の子育て関連ソリューションも順調です。これらサービスの積極拡販を行うべく、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携を引き続き強化し、さらなる売上・利益成長を果たします。

クラウド薬歴導入店舗数



子育てDX導入自治体数

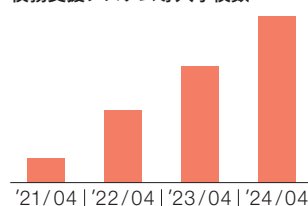


学校DX事業

学校DX事業では、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに開発・提供しているクラウド型校務支援システム『BLEND』の導入学校数が好調に推移しています。

今後、導入学校数を伸ばすことを通じて、さらなる売上・利益成長を果たします。

校務支援システム導入学校数



クラウド薬歴事業

CARADA 電子薬歴 Solamichi

生成AI機能追加、さらなる導入数拡大へ

「CARADA 電子薬歴 Solamichi^{※1}」は、業務効率を改善する薬歴システムです。調剤薬局からの引き合いが強い状態が続いています。薬局グループの店舗間で薬歴が相互参照できる他店舗連携などの機能も追加したことで、小規模のみならず中規模薬局への導入も好調に推移しています。

従来の「服薬指導ナビゲーション機能」と、2024年4月から提供を開始したAI薬歴作成支援サービス『corte(コルテ)^{※2}』を併用することで、患者への服薬指導のさらなる質的向上と薬歴作成の業務効率化の両面を推し進めることができることから、実際の利用者である薬剤師に大変好評です。

服薬指導ナビゲーション機能



AI薬歴作成支援サービス『corte』



薬歴に必要な項目を
自動で抽出

薬剤師の
さらなる
業務効率改善へ



服薬指導の会話を
生成AIが自動で要約

※1：CARADAは、株式会社エムティーアイの商標または登録商標です。

※1：Solamichiは、株式会社ソラミチシステム（当社子会社）の登録商標です。

※2：『Corte』は、株式会社corteと株式会社ソラミチシステムの共同開発による、音声認識AIと生成AI（ChatGPT^{※3}）を用いたサービスです。

※2：『Corte』は、株式会社corteの商標登録です（同社より特許出願中）。

※3：ChatGPTは、米OpenAI社の商標です。

薬歴とは？

調剤薬局では、患者の薬物治療を安全に行うために、診療報酬制度に基づき、調剤内容や用法のほか、服薬指導の記録を「薬歴（薬剤服用歴）」に正確に記録することが、薬剤師の業務として義務付けられています。患者の服薬状況を継続的に把握するなど質的改善も求められています。薬歴作成は超過残業問題にも繋がっているため、業務効率改善と服薬指導の質的改善に寄与するクラウド薬歴の導入意欲が高まっています。

学校DX事業

BLEND

私立に続き公立向けも開始

『BLEND』は、教師・学生・保護者をつなぎ、教師の業務である「校務」を効率化するフルクラウド型校務支援システムです。『BLEND』に対する導入意欲は依然高い状態です。私立学校向けについては、2025年4月導入に向けた新たな案件が順調に積み上がっています。公立学校向けについては、政府による都道府県領域での校務DX推進が行われているなかで、山梨県教育委員会と県立高等学校へのシステム導入についての契約を締結しました。これを機に、私立学校のみならず、公立学校への事業領域拡大を推し進めていきます。



出欠管理

成績管理

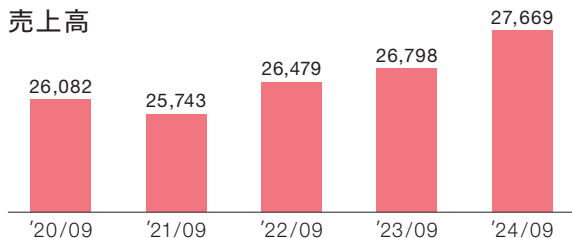
学習管理

教師が本質的な教育に
集中できる環境を整える

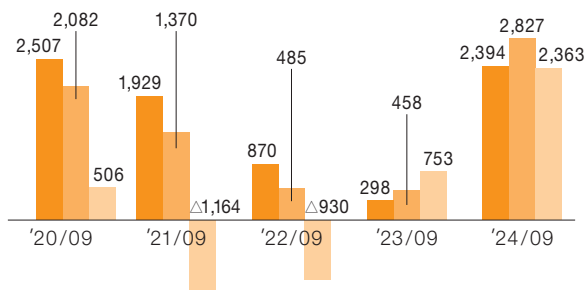
決算データ

(単位：百万円)

売上高

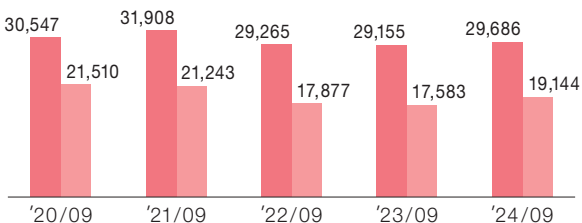
営業利益、経常利益、
親会社株主に帰属する当期純利益

■：営業利益 ■：経常利益 ■：親会社株主に帰属する当期純利益



総資産、純資産

■：総資産 ■：純資産



株主還元

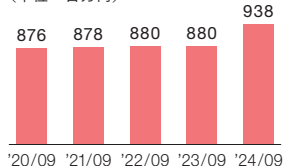
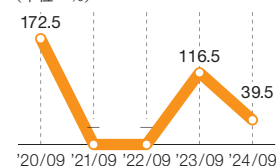
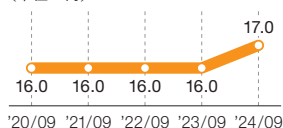
基本方針

当社は、企業価値の創造と拡大を通じた時価総額の向上とともに、利益配分を継続的に実施していくことを重要課題として位置付けています。利益配分にあたっては、「中長期的な売上高・利益の持続的成長と株主への利益還元の調和」という資本政策の基本方針、そして積極的な事業展開に備えるための内部留保を勘案し、総還元性向^(※)として中期的35%を目安に株主還元を行っています。

※総還元性向=(配当金総額+自己株式取得総額)÷親会社株主に帰属する当期純利益×100

1株当たり配当金

	中間	期末	年間
当期	8円	9円	17円
次期(予想)	9円	9円	18円

配当金総額
(単位：百万円)総還元性向
(単位：%)1株当たり配当金
(単位：円)

会社情報/株式情報

2024年9月30日現在

エムティーアイのサステナビリティ ～より良い未来社会の実現のために～

エムティーアイのビジョン「世の中を、一歩先へ。」が目指す世界は、SDGsの考えと同じ方向性です。当社グループでは、さまざまな分野・業界においてより多くの個人のお客様や法人のお客様にITサービスをお届けすることを通じて、持続可能でよりよい未来社会の実現を目指しています。



1
ヘルスケアサービス
を通じた健康で豊かな
社会への貢献

2
多様性と働きがい、
公平・公正を重視した
組織づくりの推進



3
テクノロジー
を活用した
地域課題の解決



詳細は当社のコーポレートサイト サステナビリティページにて紹介しています。

https://www.mti.co.jp/?page_id=30060

会社概要

商号	株式会社エムティーアイ
設立	1996年8月12日
資本金	5,310百万円
本社所在地	〒163-1435 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 35F
従業員数	1,184名(連結)
URL	https://ir.mti.co.jp/

グループ会社

[連結子会社]

MTI TECHNOLOGY Co.,Ltd.、(株)エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングス、(株)イーグル、(株)メディアアノ、(株)ビデオマーケット、گرانセキュロロジー(株)、(株)クリブラ、モチベーションワークス(株)、母子モ(株)、(株)カラダメディカ、(株)ソラミチシステム、Automagi(株)、(株)ファルモ、(株)LIFEM

[持分法適用関連会社]

(株)昭文社ホールディングス、(株)Authlete、(株)ポケット・クエリーズ

大株主

	持株数(株)	議決権比率
前多俊宏	11,882,600	21.77%
株式会社ケイ・エム・シー	10,096,000	18.49%
株式会社エムティーアイ	6,162,034	—
株式会社 UH Partners 2	5,358,800	9.82%
株式会社 エスアイエル	4,356,100	7.98%
株式会社 UH Partners 3	4,127,000	7.56%
光通信株式会社	4,062,200	7.44%
株式会社メディアパルホールディングス	3,150,000	5.77%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,611,500	2.95%
株式会社デジマース	1,000,000	1.83%

株主メモ

株式状況

発行可能株式総数	179,040,000株
発行済株式総数	61,429,600株
株主総数	3,087名

役員 (2024年12月21日現在)

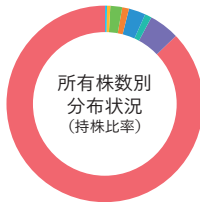
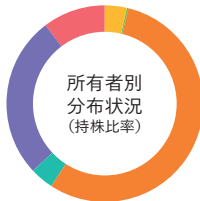
代表取締役社長	前多 俊宏	取締役	土屋 了介 (※)
取締役副社長	泉 博史	取締役	和田 英明
専務取締役	松本 博	取締役	石川 雄三 (※)
常務取締役	石川 幸一	常勤監査役	丹羽 康彦 (※)
取締役	一ノ倉 悠	監査役	笠原 智恵 (※)
取締役	周 牧之 (※)	監査役	安田 成喜 (※)
取締役	山本 晶 (※)	監査役	奥田 高子 (※)

※は独立役員

株式分布状況

■ 金融機関	3.71%
■ 金融商品取引業者	0.20%
■ その他法人	55.37%
■ 外国法人等	4.01%
■ 個人・その他	26.68%
■ 自己名義株式	10.03%
■ 1以上5未満	0.40%
■ 5以上10未満	0.61%
■ 10以上50未満	1.96%
■ 50以上100未満	1.03%
■ 100以上500未満	2.81%
■ 500以上1,000未満	1.06%
■ 1,000以上5,000未満	4.94%
■ 5,000以上	87.19%

※単位：単元



事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL 0120-232-711
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証プライム市場(証券コード：9438)
公告方法	電子公告により行う URL https://ir.mti.co.jp/stocks/public_notice/ (ただし、電子公告によることのできない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告します。)

株式に関する手続きについて

- 1 株主さまの住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

また、各種お手続き用紙のご請求につきましては、インターネットによるダウンロード(<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>)、または証券代行部テレホンセンター(0120-232-711)をご利用ください。

※本誌には当社の将来に関連する記述があります。この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確定要素が含まれていることに留意ください。